

# 第3回やす駅南口周辺整備構想

## 市民ワークショップニュース



### 第3回やす駅南口周辺整備構想市民ワークショップ

日時：4月27日（日）14：00～16：30

場所：市総合防災センター研修室

参加者：29名

滋賀県立大学：松岡教授（環境科学部環境建築デザイン学科）、  
学生6名

立命館大学：及川教授（理工学部建築都市デザイン学科）、  
塩見講師（理工学部環境システム工学科）、  
学生6名

#### ◆プログラム

1. 開会
2. 駅前整備の流れの確認、病院配置の絞り込み
3. 野洲駅南口周辺整備構想の検討（全体イメージ素案）
4. グループワーク
5. 閉会

### 市民広場を中心にした2つの素案 を提示

#### 野洲駅南口周辺整備構想提案発表会

“つながり”と“にぎわい”のまちづくり

6月21日（土）14：00～ 野洲文化小劇場

※第3回ワークショップでお知らせした会場から変更しています。

#### ◆ワークショップ開催の目的

- ・市民が主役となって取り組むため
- ・市民意見を広く聞き取るため
- ・専門家の知識、経験や学生の発想を取り入れるため

⇒市民と専門家、学生による共同作業

#### ◆野洲駅南口周辺整備構想の検討

アサヒビール(株)から土地を買い取ったことを契機とした、駅前のにぎわいづくり、まちづくりは市民の思いに大学の専門的な知識や経験、発想を交えて進んでいます。

これまでのワークショップやヒアリング等の結果を踏まえ、市の喫緊の課題で、かつ、一定規模が必要な病院について、第2回WSでの配置イメージを前提に、比較による検証を行いました。比較のポイントは現行の土地利用、市の各種計画等との整合、駅前のにぎわいづくりと活性化や交通アクセスの状況です。そして、対象区域内における各機能の規模や利用者の動線、立体駐車場の配置を加味し、参加者の意見交換も交え、駅ロータリーに隣接して病院を配置することが合理的であると絞り込みました。

病院配置を踏まえ、市民広場を中心にした全体イメージ（素案）を提示しています。



Aグループ



Cグループ



Bグループ



Dグループ

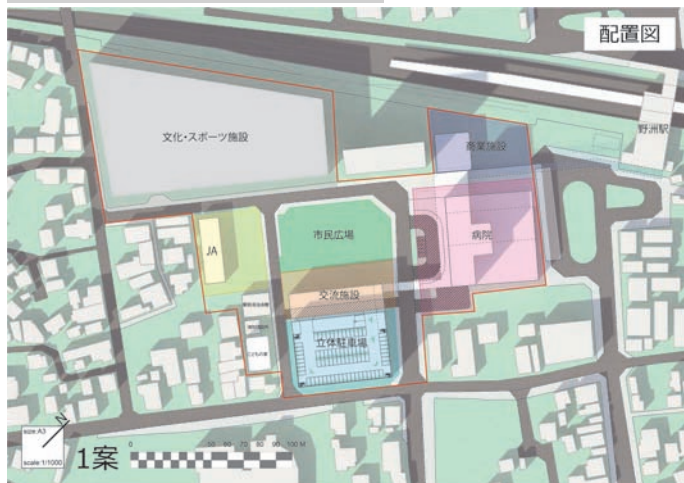
## ■ グループワークの進め方

市民広場を中心に各機能の連携をイメージした2つの素案について、各グループで良い点・配慮すべき点を話し合います。着眼点は動線や利便性、景観や市民広場の使い方等です。

各グループの意見をまとめ、発表により、参加者同士の情報共有を図ります。

なお、この2つの素案は、共同研究による提案イメージであり、面積・形状等は確定したものではありません。(JA おうみ富士の配置含む)

### ■ 1案



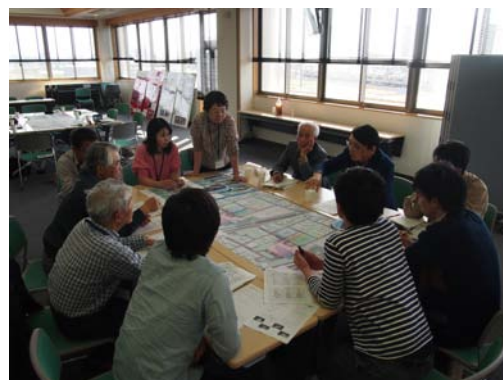
### ■ 2案



市民広場を中心に、病院や交流施設等を配置したパターン。JA おうみ富士の配置は、現文化ホール等駐車場を想定。

市民広場を中心に、病院や立体駐車場等を配置したパターン。JA おうみ富士の配置は、現位置を90度回転させた位置を想定。

## ■ グループワークの流れ



②二つの素案を比較し、良い点・配慮すべき点を話し合う



③意見を整理し、改善点を話し合う



④グループごとに発表し、意見を共有

# ■グループワーク 結果 (Aグループ)

## 1案



### < 1案 >

- ・ JA おうみ富士と市民広場のつながりが生まれる
- ・ 広場の使い方の可能性が広がる



## 2案



### < 2案 >

- ・ 広場が狭い
- ・ 広場が立体駐車場に面しているため、圧迫感がある



### < 共通意見 >

- ・ 駅前に野洲とわかる象徴的なものが必要  
→ 学生の活動発表の場、三上山の見える景色など
- ・ 広場は防災活動にも活用できる場所にすべき  
→ 木や遊具を配置する場所を考慮し防災空間を残す、非常用トイレを備えたベンチの設置など
- ・ 広場における緑の管理等、維持管理が重要
- ・ 立体駐車は本当に500台も必要なのか  
→ 駅があるので環境問題や将来を見越して台数を減らす、あるいは分散してはどうか  
→ 現野洲文化ホールのイベント利用を考えると、500台では足りないのではないかと
- ・ 文化スポーツ施設の収容数によっては、駐車場がさらに必要になるのでは  
→ 将来、敷地内で整備するスペースはある

## ■グループワーク 結果 (Bグループ)

### 1案



#### < 1案 >

- ・ JA おうみ富士の前に広場があるため、ふれあいの空間が広い
- ・ JA おうみ富士と交流施設が入れ替わっても良い



### 2案



#### < 2案 >

- ・ 立体駐車場で分断されているため、JA おうみ富士が孤立化するのは



#### < 共通意見 >

- ・ 病棟から広場が一望できるのは良い
- ・ 自然豊かな野洲の駅前の顔が病院であることに疑問
- ・ 入院患者が気兼ねなく使える屋上庭園もよいのでは
- ・ 病院前のバス停側にカフェなどの商業施設があると駅前が賑わうのでは
- ・ 市民広場に健康歩道が欲しい
- ・ 交流施設と商業施設を複合化させる
- ・ 広場を拡大させる
- ・ 交流施設には調理室、大会議室、憩いのスペースが必要
- ・ 立体駐車場の整備は工夫が必要
  - 立体駐車場を病院分の300台に抑え残りは敷地周辺に分散、一部を地下駐車場にしてはどうか
- ・ 高齢者の使いやすい立体駐車場にして欲しい
  - 車椅子利用者が多くなると予想されるため、エレベーターは設置すべき
- ・ 立体駐車場の高さを利用し、屋上に眺望台があると良いのでは
- ・ コミュニティバスの本数を増加すべき

# ■グループワーク 結果 (Cグループ)

## 1案



### < 1案 >

- ・ JA とうみ富士と交流施設が入れ替わっても良い
- ・ 広場を大きくとることが、将来の財産になる



## 2案



### < 2案 >

- ・ 広場が狭いため、アクティビティよりも緑豊かな公園にすべき
- ・ 立体駐車場を利用する車が広場を横断すべきでない
- ・ 立体駐車場により、JA とうみ富士が孤立



### < 共通意見 >

- ・ フリーマーケットを開催するなど、市民広場を多目的に使いたい
- ・ 市民広場を囲う道路は、広場と一体化するよう舗装の色などで工夫すべき
- ・ 病院の利用者も、一般の人々も利用しやすい広場に
- ・ 広場が病院や周辺の施設と関わりをもったほうが良いのでは  
→産直市や炊き出しなどを行い、農とまちをつなげるイメージづくり
- ・ 広場に面する病院と立体駐車場は、病院らしくない、立体駐車場らしくない外観に工夫が必要
- ・ 緑化を行うなど景観も大切だが、コストを抑えたシンプルな建物にすることで、他のことにお金を使う選択肢もあるのでは

## ■グループワーク 結果 (Dグループ)

### 1案



#### < 1案 >

- ・広場が広いので、広さを持たせ余さない工夫が必要
- ・病院と交流施設の場所を入れ替えた方がよい



### 2案



#### < 2案 >

- ・施設を詰め込みすぎているように感じられる



#### < 共通意見 >

- ・駅と病院の間に小さな公園があってもよいのではないか  
→広場を分散させて、小さい広場を増やす選択肢もある
- ・病院の階層を増やし、敷地面積を減らし、駅前から少し遠ざけるべき  
→駅前の圧迫感が軽減されるのでは
- ・JA おうみ富士前のスペースで地産地消の市場が開催されると良い  
→JA おうみ富士の協力を得られるならば、運営管理の確立されたカルチャーセンターを開けるのでは
- ・市民広場に遊びどころなどの工夫が必要  
→立ち寄る若者が増える可能性あり
- ・病院前の広場として、利用についての検討が必要
- ・商業施設の上に交流施設を移動させるべき  
→立体駐車場の敷地面積が増え、高さを抑えることができるため、圧迫感の軽減につながる
- ・駅付近に、学校や仕事帰りに気軽に立ち寄れる場が必要  
→体の健康、心の健康につながるのでは